

政策コメンテーター報告(第2回)(意見照会期間:2016年10月31日～11月11日)

分野:	人材育成・働き方	
氏名:	奥山 恵美子	仙台市長
	質問事項	記述式回答
	予測される経済・社会的な構造変化(2030年)	(300字以内で回答してください)
(1)①	2030年には、各分野において、どういった経済・社会的な構造変化が予測されるでしょうか。	<p>①人口構造の変化・・・東北をはじめとする地方において少子高齢化・人口減少が特に進展し、地域を支える第1次産業、中小企業、介護職等の人材不足が深刻化、後継者難・人手不足による廃業が増加する。一方で、これを補うための外国人労働者が全国に広がる。</p> <p>②産業構造の変化・・・第4次産業革命が地方にも波及し、IT化に対応できない中小事業者は廃業に追い込まれる。一方で、IT化や技術の進展により、第一次産業の業務形態が変化するとともに、クラウドソーシング、シェアリングエコノミーなどにより、地域や家庭で働くことのできる環境が整備される。</p>
	目指す経済・社会の姿(2030年)	(200字以内で回答してください)
(1)②	また、そうした構造変化を踏まえ、我が国が目指す経済・社会の姿はどうあるべきでしょうか。	地方に魅力ある雇用の場が確保されるとともに、在宅ワークなどの新たな働き方が普及し、地方部において仕事と暮らしが両立できる「職住近接社会」が構築され、働きながら介護や育児を出来る環境が整うことで、首都圏への人口集中、地方における人口減少・高齢化の抑制が図られる。
	今後取り組むべき構造改革(2016年～2030年)	(300字以内で回答してください)
(2)	上記(1)で挙げられた経済・社会の姿を実現するためには、足元から今後に向けてどのような構造改革に取り組むべきとお考えでしょうか。基本的な考え方や具体的な方法がございましたらご記載ください。	以下について、地方と国が一体となって推進していく。①労働力減少に対応するため、第一次産業や中小企業におけるIT化やロボット化などによる生産性向上と、女性・高齢者・外国人等を含めたダイバーシティ経営を促進する。②地域産業のIT化や業態変革、新事業展開をサポートする。③地域のスタートアップ企業の成長を促し、雇用創出や産業の新陳代謝を図るため、リスクマネー供給をはじめとする起業家の育成メニューの地域遍在化の是正を図る。④地方のIT化や第4次産業革命への対応を支え得る高度IT人材の育成を推進する。⑤同時に、IT化に馴染まない産業に対しては、引き続き地域社会を支えることができるような経済政策を展開する。